

練習に励む子どもたちを激励

いも煮会

明和西少年野球クラブではこのほど、監督（田中実さん）宅で、いも煮会を開きました。同クラブは、平成9年県選抜少年軟式野球大会で優勝。その後は、なかなか勝利を収めることができませんでした。そこで、保護者らが中心となり、県大会を目指して毎日練習に励んでいる子どもたちを激励しようと開いたものです。田中監督は「勝ち試合も多くなり、子どもたちも自信を持って試合に臨んでいます」と話していました。



監督の前で抱負を話す子どもたち

防火への決意を新たに

消防隊出初式



式終了後、分列行進をする明和消防団員

1月5日、館林市役所東広場を会場に新春恒例の平成15年館林地区消防組合消防隊出初式が行われ、管内の消防団員や館林消防署員ら総勢939人が参加し、防火への決意を新たにしました。本町からは明和消防団と鳶職組合若鳶会会員らが参加。管理者あいさつや来賓祝辞に続き、鳶職組合による梯子のりの妙技や消防音楽隊による演奏、消防車による一斉カラー放水を行い、訪れた大勢の観客に防火を呼びかけました。

伝統行事をいつまでも

どんど焼き

1月19日の夜、大佐貫地区の「どんど焼き」が同地区の田んぼで行われ、約130人の住民が今年1年の無病息災や五穀豊穡を祈りました。田んぼには、高さ10mの青竹を組んで稲わらなどを高く積み上げ、しめ飾りやだるまを縛り付けた大きなやぐらを設置。打ち上げ花火の後、やぐらに点火、真っ赤な炎が舞い上がりました。会場では、豚汁等が振る舞われ、参加者は「伝統行事をいつまでも残して欲しい」と話していました。



無病息災を願い点火

新たな気持ちでスタート

書き初め大会



力強く書き上げる児童

町教育委員会の第5回書き初め大会が1月11日、中央公民館で開かれ、小学生から大人まで32人が真剣な表情で力強く書き上げました。書き初めは、新たな気持ちで心の豊かさや文化の向上を目指すのが目的。小・中学生が楷書、一般が行書で「明るい町」「文化の町」などの題目に取り組みました。参加者は「筆を持つと気が引き締まる思いです。新たな気持ちで今年1年のスタートをきりたいですね」と話していました。